

平成30年度 事業評価〈館〉シート

○巻地区公民館
(峰岡公民館・漆山公民館含む)

○岩室地区公民館

○西川地区公民館

○湯東地区公民館

○中之口地区公民館

※評価シート中、「重点名」は資料2（平成30年度事業報告）中の「重点課題」と対応しています。

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	2事業 コミュニティ・コーディネーター養成講座 他				12事業 親子de地引き綱 他				3事業 幼児期家庭教育学級 他				2事業 青少年健全育成講演会 他							
ねらい	地域課題に取り組み、団体や住民相互など地域と行政のつなぎ役として意見や活動をコーディネートする人材を育成する				活動や体験を通して、巻地区内の小学校や地域住民との交流や親睦を深める。				家庭教育の充実や子育ての重要性を啓発するとともに育児不安の解消を図る。				青少年の学区を超えた交流や異年齢交流を図り講演を聞くなど青少年の健全育成を目指す。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数		1	まげこぜ未来塾は実力をつけてきたので、今後はサークルでの活動を行う	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数							
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	92%	地域課題に取り組みをしていることで満足度は高い。	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	好評の事業であり、次年度も参加したいとの声多数。	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	アンケート結果による	受講者の満足度(平均値)	80%	90%	講演会への参加者からは満足との声が多かった				
	受講者の気づき(平均値)	80%	91%	地域の歴史に触れたためになったとの声多数。	受講者の気づき(平均値)	80%	87%	色々なことを学んだ、ためになったの意見が多かった。	受講者の気づき(平均値)	80%	93%	アンケート結果による	受講者の気づき(平均値)	80%	86%	講演会では成長期の体の変化の様子を深く気づけた。				
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.5	地域課題への関心度は高い。			必要性(平均値)	3.6	中学校入学前の他校との交流の場となっている。			必要性(平均値)	4	子育てに悩む保護者の仲間づくり、不安軽減につながっている			必要性(平均値)	3	講演を聞くことで新たな知識を蓄え今後の成長につながる。		
	有効性(平均値)	4	区の地域総務課と連携が図られた。			有効性(平均値)	4	参加者の満足度は高く次年度も継続希望が多い。			有効性(平均値)	4	満足度は高く、受講者同士のつながりもできている。			有効性(平均値)	4	講演内容から大きな影響を受けている様子が伺えた。		
	効率性(平均値)	4	講師は参加者の中から依頼したのでコスト削減につながった。			効率性(平均値)	4	地域ボランティア、教育コーディネーターと協力しコスト削減で実施できた。			効率性(平均値)	4	保育に係る経費は必要不可欠なものがあるが、その他の部分でボランティアの活用や他の機関と連携し効率的な運用を図っている。			効率性(平均値)	4	関係機関主催の講演会で効率的な運営だった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	平成29年度の企画を実践した。少子・高齢化に取り組む、まげこぜ未来塾は力をつけてきたので今後グループで活動を行う。次年度は地域を変更して実施していく。				マンネリ化しないよう夏チャレンジメニュー終了後に反省会を実施し新しい取り組みを入れている。				季節(11月、12月)のせいもあってか、欠席者が多いのが課題、次回はアンケートや企画委員の声も生かした内容で改善を図る。				予算減のため開催学校を輪番的に限定しているような状況である。次年度も予算がつかないため計画の変更を考えなければならない。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		2				12				3				2						
評価区分	<コメント> コミュニティ・コーディネーター養成講座は、地域活性化のための重要な事業と言える。引き続き地域を変更して実施し各地域に合った活性化事業を検討実施して欲しい。				<コメント> 地域教育コーディネーターの協力により多様な事業が実施できた。個人負担のかかる講座も人員確保が行え参加者からは満足の声を聞くことができた。今後も内容を変え継続していく。				<コメント> 受講者の満足度も高い講座であるが、開催時期が冬場となり参加者が少ないのが課題、開催時期を変更するなど改善を図るべき。				<コメント> 小中学校、青少年育成協議会と連携し講演を開催し健全育成に寄与している。フォーカラリーは悪天候のため中止となったが今後もバックアップしていきたい。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	3事業 巻、峰岡、漆山長寿大学							
ねらい	高齢者同士の親睦、自立や生きがいを生み出し充実した生活を送るための学習の場を提供する。							
成果		目標値	結果	コメント				
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	81%	参加を楽しみにしている受講者が多い。	受講者の満足度(平均値)			
	受講者の気づき(平均値)	80%	79%	学んだことを生活の中で生かしたいと思っている人が多い	受講者の気づき(平均値)			
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3	生涯学習という観点から、高齢者が生きがいをもって日々の生活が送れるよう事業の質を高めていく必要がある。		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	3	参加者が楽しく学べる講座づくりを今後も行っていく。		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	4	野外研修では、学級性全員の意見を反映して行ったため円滑に行われた。		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	参加者は女性が大半を占めている。男性の参加も増やすような事業展開が必要。							
館長評価	A	B	C	D				
		3						
	<コメント> 参加者のニーズに即した事業内容となるよう企画会議などでリサーチして提供していきたい。また、得た知識を家庭や地域で還元できるような事業計画を図りたい。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業評価シート(岩室地区公民館)

総事業数(34)

1. コミュニティ(8) 2. 学社民(5) 3. 家庭教育(5) 4. 青少年(3) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(7) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	8事業 ひろがれ響け盆踊りの輪と音頭 他				5事業 公民館出前型講座				5事業 乳幼児期家庭教育学級 他				3事業 フリースペース, 少年少女避難所体験							
ねらい	地域コミュニティ協議会等の地域団体と連携・協力しながら, その課題解決を担う地域の人材を発掘・養成するとともに, ネットワークづくりを通じて, 地域コミュニティ活動の活性化を促進・支援する。				学校が地域のコミュニティの中心になるよう, 学校・社会教育施設・地域が連携し, 情報や人材, 地域活動を結び, 地域人材の発掘・育成により地域づくりを推進する。				子育て期の保護者を対象に, 子育てに関する学習機会の提供や親同士の仲間づくりを推進するために, 生涯各期の成長段階に応じた家庭教育学級や子育て支援事業を実施することにより, 家庭の教育力の向上を図る。				青少年の健やかな発達のために, 地域の青少年育成協議会やコミュニティ協議会等と連携しながら, 地域ぐるみで青少年の健全育成に努める。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	0	0		サークル結成数	1	1	カーリンコンクラブ	サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0					
	企画委員希望者数	/	5	アンコールふるさと講座「岩室の松郷屋焼」の受講者	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	7	ゆりかご学級3人, ペアレントプログラム4人	企画委員希望者数	/	0					
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	アンコールふるさと講座のアンケートの結果	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	いずれの講座も高い満足度が得られた	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	満足度は非常に高く, 継続希望あり	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	青少年リーダー研修「だいろ塾」				
	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	ふるさと講座のアンケートの結果	受講者の気づき(平均値)	80%	93%	生活の中で役に立つ内容である。	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	受講者は少ないが, 深い気づきがある	受講者の気づき(平均値)	80%	96%	青少年リーダー研修「だいろ塾」				
その他成果(品)及びその活用等	/	/		その他成果(品)及びその活用等	/	/		その他成果(品)及びその活用等	/	/		その他成果(品)及びその活用等	/	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	伝統的な文化の継承, 地域の絆づくりなど促進を図った。			必要性(平均値)	4	学校に入りやすい環境づくりのきっかけとなっている。			必要性(平均値)	4	子育ての情報を得たり, 仲間づくりのためには必要。			必要性(平均値)	3	子どもが体験活動することで気づくことも多いので必要。		
	有効性(平均値)	4	コミ協, 自治会, スポーツ振興会などと連携が図られている。			有効性(平均値)	4	地域教育コーディネーターが調整役となり準備を進めた。			有効性(平均値)	4	受講者の満足度は非常に高く, 継続を希望する人が多い。			有効性(平均値)	3	中学生と小学生, 他学校との交流の場となった。		
	効率性(平均値)	4	地域人材の活用により経費削減となった。			効率性(平均値)	4	参加者の実費負担は材料費のみ			効率性(平均値)	4	「おはよう朝ごはん」(材料費負担)以外は受講無料			効率性(平均値)	3			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	「ひろがれ響け盆踊りの輪と音頭」と「地域対抗ニュースポーツ大会」は, 昨年よりも参加者が減少した。若い世代や子どもの参加者を増やすために, 地域住民から意見や希望を聞きながら内容等を検討する。				地域住民が, 学校に入ることができる良いきっかけづくりとなっている。参加者は高齢者が多く, 同じ顔ぶれである。子どもを送迎している保護者も参加しやすいように, 内容や開催時間を工夫する。				家庭教育学級ほどの講座も満足度は100%である。受講者はあまり多くないが, 受講生同士のつながりを継続するために, 講座終了後のフォローアップが必要である。				青少年リーダー研修は, 長年続いた宿泊研修「めだかの学校」を「だいろ塾」に名前をかえて, 公民館外の宿泊施設で行った。岩室小学校, 和納小学校の4~5年生の交流の場として必要な事業ではあるが, 参加者の減少と見守りスタッフの不足から廃止とした。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
1		6	1			5				4		1		2		1				
評価区分	<コメント>3年目となった「ひろがれ響け盆踊りの輪と音頭」は, それぞれの出演者に自信とやる気がうまれ, 来年度の地元開催に向け動き出した。公民館事業が, 地域の活性化につながっていることは大いに評価できる。				<コメント>3つの小中学校地域教育コーディネーターとうまく連携がとれている。学校側の理解, 協力もあり, 地域住民が気軽に学校へ足を運んでいる。				<コメント>「思春期セミナー」や「ペアレントプログラム」など, 現在の家庭教育に必要なことをテーマにしている点は大いに評価できる。必要性が高いと考えるので, 参加者の増加を図るために周知方法を工夫する。				<コメント>子どもの安全性を考えると「だいろ塾」の廃止はやむを得ない。「ハンターから逃げろ」は中学生がハンター役となって小学生をつかまえるといった内容だが, 中学生と小学生, 他学校との交流の場は初めての試みであり, 効果的な事業である。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 いきいきセミナー				7事業 発達障がい「自分らしく生きる」他			
ねらい	高齢者の生きがいづくりや健康づくり、仲間づくり、地域活動への参加支援などにより、新たな地域活動の担い手育成を図る。				高齢化や少子化、情報化、人権問題など、現代社会における様々な課題について学習を深め、課題解決を支援する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数	1	3	バッククッキング、総おどり体操、認知症サポーター養成講座
	企画委員希望者数		3		企画委員希望者数		0	しゃべり場5人
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	高齢者に関心が高い内容であった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	発達障がい関係の講座は満足度が高く、継続希望者も多い
	受講者の気づき(平均値)	80%	95%	高齢者に関心が高い内容であった。	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	発達障がい関係(講座、しゃべり場)
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			発達障がい「しゃべり場」のスタッフが発達障がい「自分らしく生きる」の企画運営にかかわった
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	高齢者の生きがいづくりや仲間づくりのきっかけとなった		必要性(平均値)	4	「しゃべり場」は参加者の居場所となっており、参加者全員が継続希望。	
	有効性(平均値)	4	3つの分野で、好きな講座を選べるので満足度は高かった。		有効性(平均値)	4	西蒲区外からの参加者、リピーターも多い。	
	効率性(平均値)	4	市の職員や無料講師を活用し経費削減を図った。		効率性(平均値)	4	講師は市の職員を活用し、経費削減を図った。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の関心が高い健康づくりや介護予防、認知症などをテーマに、仲間づくりや生きがいづくりができる内容を取り入れる。				「しゃべり場」は参加者が固定化されてきた。そこに新しい参加者も加わり、みんなの居場所となっている。必要性は認識しているので、今後は自主運営ができるように公民館のバックアップが必要である。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				4		3
	<コメント> 3回の連続講座ではあるが、選択性であるため仲間づくりに結びつかない。超高齢化社会において健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりにつながる講座を企画したい。				<コメント> 認知症サポーター養成講座終了後、地域ボランティアについて考える場を数回設けた。そこから介護劇団「おめさんこいて」が立ち上がり、現在、公民館を拠点に地域の茶の間で活動している。すばらしい取り組みであり、公民館も支援していきたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業評価シート(西川地区公民館)

総事業数(13) 1. コミュニティ(3) 2. 学社民(3) 3. 家庭教育(1) 4. 青少年(2) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(2) 7. その他(1)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	3事業 地域コミュニティ団体育成講座、音楽と芸術に親しむ集い、傘ほこ茶会				3事業 キッズ'倶楽部、夏休みキッズ'倶楽部、おはよう朝ごは				1事業 幼児期家庭教育学級				2事業 わくわくカレッジ、やみつきウォーキング							
ねらい	地域イベントボランティアや自主活動団体と協力することで地域コミュニティの活性化を目指す。また市民と公民館が協働で事業実施を行う。				小学生の土曜日の居場所づくりで地域の方々を講師に迎え、様々な体験活動を開催する。また、中学生が講師となり運営をすることにより、地域活動への参加につなげる。				子育て期の保護者を対象に子育てに関する学習機会の提供や親同士の仲間づくりを推進する。				集団での体験活動を通じて達成する喜びや相手を思いやる心を育成する。併せて、活動をサポートする地域ボランティアの育成も行う。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0					
	企画委員希望者数		3		企画委員希望者数		0		企画委員希望者数		1		企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	92%	コンサートの感想も含む	受講者の満足度(平均値)	80%	100%		受講者の満足度(平均値)	80%	100%		受講者の満足度(平均値)	80%	100%	わくわくカレッジ				
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%	90%		受講者の気づき(平均値)	80%	80%		受講者の気づき(平均値)	80%						
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	2.7	講座を通して参加者同士の交流や新しい地元企業、その内容の紹介もできた			必要性(平均値)	3.5	土曜日の子どもの居場所として定着している。			必要性(平均値)	4	申込者数から継続が必要と思う。また参加者の満足度は高い。			必要性(平均値)	3	学校との連携、体験活動の支援、地域に向く公民館事業として必要		
	有効性(平均値)	3	地域の人材を活用することができた。			有効性(平均値)	3.5				有効性(平均値)	4	地元市民(西川地区)参加者が0名であった。今後周知に工夫が必要。			有効性(平均値)	4	学校・育成協・公民館と連携して行っている。		
	効率性(平均値)	3.7	ボランティアスタッフ、企画委員と役割分担を行い効率的に進められた。			効率性(平均値)	3.5	中学生や地域住民を講師として招いている。			効率性(平均値)	4				効率性(平均値)	4			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	<コンサート>低額予算での運営で出演者も限られてくるところがある。これ以上の予算縮小は開催回数及び出演者内容に影響する。				小学生のニーズを把握し、学校では体験できないさまざまな講座を開催していきたい。				内容を検討する際に公民館利用の子育てサークルなどから情報を収集し今、必要としている情報や学習を提供できるように工夫が必要。開催時期については近隣公民館と調整し保育者確保に努める。				やみつきウォーキングについては育成協議会のイベントとして開催しているが、事前準備・協力者の確保等のやりくりで事務局の労力が大きいため、今後の体制づくりの改善が必要である。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		2		1		3				1				2						
評価区分	<コメント>コンサート企画及び運営を地域の受託者及びボランティアに支えられて通常ではできない低事業費で継続実施し各回内容も多様なジャンルで実施し聴衆からは好評である。厳しい予算状況であるが回数や出演者等を工夫しながら事業継続に努めたい。				<コメント>当初、子どもの土曜日居場所づくりとして始まり、現在も様々な分野の指導者や大学生、地域団体を講師に迎え年間20回程度の運動やものづくり体験活動を行い、子どもたちの交流、ふれあいの場として健全育成に寄与している。				<コメント>核家族化や近隣のつながりが希薄になる中、子育てにひたすら学びや知識習得と子育てに苦勞する親同士の交流の場として本事業の必要性は高く、今後も保育環境の向上に努めながら継続する必要がある。				<コメント>イベント自体は好評であるが、運営を自主的に行えるよう事務局の体制づくりの改善が必要である。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 西川健康クラブ				2事業 地域の歴史と文化財講座、楽学ガレッジ			
ねらい	高齢者の自立、生きがいを見出し、交流の場を作る。				さまざまな学びから人とのつながりや地域とのつながりを見出す。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	0	1		サークル結成数	0	0	
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	3	
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%	100%	
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3	参加者同士の連携やコミュニケーションのとれる場になっている		必要性(平均値)	3.5	昨年度の講座を踏まえた連続性のある講座となった	
	有効性(平均値)	4	自分の体力状況把握ができた		有効性(平均値)	4	現地視察を取り入れ参加者の満足度も高い結果となった	
	効率性(平均値)	4			効率性(平均値)	3.5	講師や視察先関係機関との連携により効率的・効果的に実施できた	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	いろいろな競技メニューを用意いただいた中での活動だが、競技内容によっては体に負担が強いものもあると感じる。特に目立ってケガをされた方も体調不良を訴える方もいなかったが楽しく体力づくりができ、いろんな方々とのコミュニケーションをとれる場になってほしい。				＜歴史＞現地視察があり昨年度まではコミ協のバスを使用してきたが、当該車両が廃車となり、次年度は区バスも廃車されることから異動手段の手当が課題となっている。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				2		
	＜コメント＞健康維持、フレイル予防対策として県レクリエーション協会との連携により地区老人クラブ協議会会員を主な対象に本事業を新規に実施した。年間24回程度の通年開催により効果があったと思われる。健康寿命の延伸のため継続し充実を図っていきたい。				＜コメント＞地域の歴史と文化を知る機会として有効な事業である。今後、事業を継続的に実施するうえで参加者から講座内容や開催時期についてアンケートをとるなど参加意欲を高める取り組みをしたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業評価シート(潟東地区公民館

総事業数(27)

1. コミュニティ(1) 2. 学社民(1) 3. 家庭教育(1) 4. 青少年(14) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(4) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	1事業 まちのお宝ガイド養成講座				1事業 小学校のpcルームで、コーディネーターを講師に児童対象にpcの操作等の学習の機会を体験する活動。				1事業 おはよう朝ごはん料理講習会				14事業 土曜日・長期休暇の子ども居場所づくり事業(わくドキ等)							
ねらい	地域の文化財などをガイドする人材を育成し, 地域の活性化を図る。				小学校のpcルームで、コーディネーターを講師に児童対象にpcの操作等の学習の機会を体験する活動。				子どもたちの健やかな成長を育むため, 簡単レシピで調理実習を行い「食」の大切さを伝える。				多種多様な体験活動を提供することにより, 子ども達が主体的に判断・行動できるようになることを目指す(土曜日や長期休暇の居場所づくり体験事業)。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	有	1	有志等の集まり	サークル結成数	無			サークル結成数	無			サークル結成数							
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	今回は3回目となるが、実践しているガイドを視察でき、好評だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	パソコンで、プログラム作りに挑戦し、好評だった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	参加者24名で、各グループで協力して作ることができた。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	受講者の成長が見える事業である。				
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)				受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%	100%					
その他成果(品)及びその活用等			実際のボランティアガイド活動を視察しながら、潟東の実践に向け、意識が高まった。	その他成果(品)及びその活用等			夏休みの学校を活用しパソコン教室を開催。学年を超えた交流もできた。	その他成果(品)及びその活用等			教室で覚えた料理を家庭でも作ってみたいという声が多かった。	その他成果(品)及びその活用等				お茶・お花・絵手紙等、日常生活にも役立っている。				
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3	高齢者の社会参加を促すためにも必要。			必要性(平均値)	3	人づくり、地域づくりに資する有意義な事業である。			必要性(平均値)	4	洋風の簡単メニューが功を奏したのが早く定員に達し好評を得た。			必要性(平均値)	3.2	作品を作りたいという意欲が感じられる。		
	有効性(平均値)	3	樋口記念美術館及び資料館での活動が期待される。			有効性(平均値)	4	小学校の全面協力で行うことができる。			有効性(平均値)	4	コミ協との連携が図られ、運営もスムーズだった。			有効性(平均値)	3.7	それぞれのアイデアで作品を作り上げ、達成感を感じている。		
	効率性(平均値)	3	団体で訪れるお客様への対応に効果が期待される。			効率性(平均値)	4	適当であった。			効率性(平均値)	4	参加者に有効的に反映されている。			効率性(平均値)	3.8	ボランティア講師による講座で、参加費も適当である。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	高齢者の参加希望者が多く、学習には参加するが、完全な「ガイド」の形にまで至っていない。より実践的な講座開催が必要。				小学生を対象としたため、学年差があり、製作時間等に違いがあった。				平成30年度は、24人の参加があった。今後も続けて、朝ご飯の大切さを知ってもらうようにしていきたい。				参加者が少ないクラブもあることから、クラブの周知に努めたい。また、夏休みの子どもフェスタのわくドキ体験でも体験コーナーを利用して周知できるようにしたい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		1				1				1				14						
評価区分	<コメント> 潟東地域には潟東樋口記念美術館、潟東歴史民俗資料館とともに常勤専任職員の配置がなく、ガイドボランティアの育成が急務である。講座には参加するが実践するまでには至っていない。座学など丁寧な講座開催が今後必要である。				<コメント> 小学生全学年を対象としているため、出来上がるまで個人差が大きかった。対象を絞った方がより参加者の満足度が上がると考えられる。しかし、早く出来上がった上級生が下級生の手伝いする行動は微笑ましく感じた。				<コメント> 潟東地域コミュニティ協議会と連携し「朝ごはん料理講習会」への意識、大切さを親子で知る機会になった。レシピの内容によって参加希望者数が違う。				<コメント> 子どもたちにとって茶道、華道、書道などの日本文化に触れ、物づくりを学ぶ貴重な体験機会となっている。次年度以降も継続していきたい。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 青空学級				4事業 スポーツ教室及び大会・運動会・文化祭・芸能祭			
ねらい	高齢者の自立・生きがい・健康づくり・仲間づくりの支援を行う。				地域住民の交流の場として、また、スポーツ・文化・芸能活動の振興、活性化を目指す。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	青空学級アンケート結果	受講者の満足度(平均値)			
	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	青空学級アンケート結果	受講者の気づき(平均値)			
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	高齢者の社会参加を促すためにも必要		必要性(平均値)	3	練習に励んでいる団体や文化団体の発表の場として重要である。	
	有効性(平均値)	4	リピーターの多い講座のため、アンケートで受講生のニーズをつかみ、講座に反映		有効性(平均値)	3.5	出演団体・作品の減少に対し、各種団体への呼びかけが必要。スポーツ教室については、スポーツ振興会と連携。	
効率性(平均値)	4	視聴覚センター・福祉バス・市政さわやかトーク宅配便を利用し、事業費を抑える工夫をしている。		効率性(平均値)	3.5	概ね適当と考える。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	アンケート結果から見れば良好な内容であり、満足してもらっているが、出席率が低い時もあるため、さらに具体的な要望事項を把握していきたい。				発表者も来館者も高齢化が進んでいるため、若い世代の参加を募集したい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				4		
	<コメント> 高齢者の社交の場、生きがいづくりの場となっている。毎年工夫しながら講座内容を検討し実施している。1つでも2つでも趣味や生活の足しにもらえれば。				<コメント> 潟東地域は地域事業が盛んで「どろんこカップ」「かもネギまつり」「地域運動会」「リレーマラソン大会」など地域以外からの参加者も多く、盛大にかつ継続的に実施している。公民館もコミ協などと連携しながら企画の段階から参加している。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成30年度事業評価シート(中之口地区公民館)

総事業数(28)

1. コミュニティ(10) 2. 学社民(6) 3. 家庭教育(4) 4. 青少年(4) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(0) 7. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	1 事業「中之口を知ろう～楽しく・ニコニコ～」				4 事業 夏休み親子で染物教室 他				4 事業「子どもの広場」ちびっこ秋まつり 他				7 事業 ふるさとかるた大会 他							
ねらい	地域の課題解決を担う人材発掘及び育成を図るとともに、各地域団体と連携・協力したネットワークづくりを通じて地域コミュニティ活動の活性化を促進・支援する。				夏休み期間中に、親子や子ども達が活動や体験を通して、学校や地域住民との交流と親睦を深める。				子育てに関する学習機会の提供や親同士の仲間づくりを推進し、子育てでの不安や悩みの軽減を図る。				青少年の健やかな発達のために、様々な体験活動や交流活動を通し、地域や青少年育成協議会と連携しながら青少年の健全育成に努める。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	0	0		サークル結成数	0	0		サークル結成数				サークル結成数	0	0					
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/	0					
	受講者の満足度(平均値)	80%	93.33%	「中之口を知ろう～楽しく・ニコニコ～」笑いヨガ講座アンケート結果	受講者の満足度(平均値)	80%	95.23%	「親子で染物教室」アンケート結果	受講者の満足度(平均値)	80%	88.80%	「親子料理教室」アンケート結果	受講者の満足度(平均値)	80%						
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%						
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	伝統的な文化の継承、地域の絆づくりなど必要性はある。			必要性(平均値)	4	地域活動、地域づくりを推進する事業として必要性はある。			必要性(平均値)	4	子育ての情報や保護者同士の交流の場として役立っている。			必要性(平均値)	4	青少年の健全育成の体験活動の場としての必要性はある。		
	有効性(平均値)	4	地域の問題解決を担う人材の発掘、育成として適当であった。			有効性(平均値)	4	学校との連携、周知をはかりながら進めるので有効である。			有効性(平均値)	4	満足度は高く、有効性はある。			有効性(平均値)	4	地域、学校・関係団体との連携と協力によりスムーズに運営できた。		
	効率性(平均値)	4	地域人材やボランティア団体の活用により公費を抑えることができた。			効率性(平均値)	4	地域ボランティアなどと協力し、公費を抑えることができた。			効率性(平均値)	4	ボランティア団体が協力をするなど経費を抑えることができた。			効率性(平均値)	4	関係団体と連携することで、経費を抑えることができた。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	地域の活性化を促進・支援する事業として見直し実施し3年目となる。新しく取り組んだ事業もあり、内容の充実にも努めている。 周知不足と周知の遅れから参加人数が少ない講座もあった。更なる周知方法について検証し、参加者の増加に努める必要がある。				他に、「小中学校出前講座」「新春書き初め大会」「新春大いに夢を語る会」「夏休み親子で陶芸教室」の事業があり、学・社・民の融合事業として中之口地区に定着している。 参加者も多く満足度も高いが、事業の検証を行い内容の充実を図っていく必要がある。				「子どもの広場」事業は年間2回、朝ごはん講習会は1回、親子料理教室は1回実施し、内容の充実を図る努力をしたことで参加者の満足度は高かった。 周知方法としては、世帯への回覧チラシのみであったが、さらに検討し参加者数の増加に努める必要がある。				地域や各団体と連携・協力し、青少年の健全育成事業として中之口地区の伝統的業務となっている。 平成30年度は例年使用している公民館が使用できなかったことから、内容をあらたに検討し中之口西小学校で実施した。 H30年度の反省点を含めた中で、内容の充実を図り実施していく必要がある。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		10				6				4				4						
評価区分	<コメント> 当地域のまつり伝統行事(七夕飾り、灯ろう飾り作成など)に活力を注ぎ取り組みとして、また地元講師による地域起こし(まち歩き講座)や健康年齢の延伸の取組み(笑いヨガ講座)など、講師、参加者にとって有意義な講座であった。				<コメント> 夏休み講座として、前年度好評を得た「親子陶芸」、親子染物の教室は、学校関係にも協力を得てPRし、募集早々定員に達するなど人気講座となった。講師に加え、地元の子どものメンバーが協力して、参加者の成果品も大変良い作品となっている。				<コメント> かつての隣近所の交流が盛んな頃とは異なり、一地域に数軒しかない子育て年代の親子が参加して、子ども同士の遊びや子育て、教育の話し合いのできる講座・教室の意義は大きい。地域のまとまりや、顔の見える親同士の交流のきっかけづくりに貢献している。				<コメント> H29で公民館宿泊体験事業は終了。H30は、夏休み中の一日開催の交流事業として計画したが参加申込がなく中止。日程と内容を再検討を要する。当地域に根強く伝わる、地域の名所、偉人に関係するふるさとかるた大会は、地域の青少年事業に貢献している。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止										

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 中之口大学リニューアル事業							
ねらい	高齢者の自立と生きがいを見出し、交流を図り充実した生活を送るための学習機会を提供する。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	0	0		サークル結成数			
	企画委員希望者数	/	0		企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)			
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)			
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	高齢者の仲間作りや生きがい作りのきっかけとなる。		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	4	野外視察を通じて、研修を楽しみながら実施できる。		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	4	視察研修のため、自己負担を軽減するよう心掛けた。		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	事業内容としては、ここ数年視察研修として実施している。参加する方は、期待を寄せているようではあるが、参加者は固定化している傾向にある。 改めて高齢者のニーズを把握し、講座の開催等も含め内容を検証し参加を募る必要がある。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	1							
	<コメント> コミ協主催事業だが、これまでの経緯から当館が主体的に協力する事業になっている。当事業の行政の補助事業の位置づけからすれば主催側の自主性の発揮が期待され、視察先が周辺地域に限定されることや、参加者も固定化しているため新たな事業に転換することが望ましい。R1年度廃止。				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

巻地区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止